



安元 慶彦 議員

- 鳥獣による被害対策は
- 高速道の推進状況は
- 農振地域の見直しは

鳥獣による農林産物の被害対策は

問 被害防止に向けた対策と展望は。

答 町長

猪、鹿等の鳥獣被害に対する今後の展望については特効的な対策はありませんが、現状についてそれを更に支援強化するというのが、当面の取るべき手法と想っています。私案として鳥獣対策会議を設置してその中で皆さん方のご意見を聞きながら対策を決定すべきと考えています。地域の代表の方と猟友会の方々と本町のあるべき鳥獣対策を決定して、それに基づいて対策を展開していく方法をとるべきと考えています。

答 産業振興課長

23年度から新しくメニューが加わりまして鳥獣被害緊急総合対策により捕獲機材の導入と被害防止柵の設置補助が始まります。また、狩猟免許取得者の取得助成等の取り組みについて推進していかねばならないと思っています。

問 家屋の移転による農地転用状況は。

答 建設課長

家屋の移転による農地状況は17件の内、移転済が既に12件、只今建設中が1件、更に農振の除外待ちが1件及び転用の申請済が3件です。

答 産業振興課長

農振除外1件については町の審査は終わっています。後は県の同意待ちです。転用申請については農業委員会等を開催して、今月中に転用許可が下りるようになっていきます。



東九州道路建設現場(安雲)

答 産業振興課長

20年6月から準備作業を始めて21年10月末にこの計画の農振除外或いは編入申請を停止して、その後本格的に着手して農林事務所と協議しながら作業を進めました。22年1月に農林事務所に見直し案を提出し、4月に県のヒアリングを受けその後関係機関との意見照会等を行なって9月24日に県から承認を受け、10月1日に農業振興地域整備計画の変更案の広告を行ないました。45日間の縦覧或いは異議申し立て期間後に県への手続きを行い同意頂き、11月24日公告により見直し作業が完了しました。

問 20年9月の一般質問に対して、22年3月に完了するという答弁になっていたが。

答 産業振興課長

県等の協議において時間を要したため、計画通りにいかなくて8ヶ月間遅れが生じました。

問 成果品が出来上がった中でこれからの除外なり転用申請がこれを一つのベースとしてスムーズにいくと考えると良いのか。

答 産業振興課長

当然そうなります。



担い手確保が必要では

問 町長は本町の真価として、自然や農産物をあげていた。自然や農産物は、保全隊など住民の努力で成り立っている。しかし担い手不足で真価が危ぶまれている。担い手を確保する政策、または担い手に代わる政策を導入し、町の真価を守っていく必要があると思うが、どのように考えるか。

答 町長

公社化や企業化の振興を考える必要があると思う。人材の育成や補充は大変難しい局面にあり、課題だと思っています。

明るい町づくり推進事業

(イルミネーション設置者に最高2万円補助を行う町独自事業)

問 事業の行政効果・必要性をどのように考えているのか。

答 企画情報課長

明りがあることで、農村の暗い闇のイメージが明るい町のイメージに変わり、町のPRにもつながる。地域に連帯感が生まれ、防犯意識の向上にも寄与し、町外の見学者が来れば町の知名度も上がる事が期待できます。

問 今年度の助成実績は

答 企画情報課長

26件の交付決定をし、交付決定額29万9349円です。

問 住民がイルミネーションを申し込むのは良い事だが、行政が補助金を出す必要性はあるのか。補助を止めて、コンテストを充実させる方向へ事業を転換すべきだと思うが。

答 企画情報課長

LED電球を使用した電飾器具の購入を対象に補助を行っています。コンテストを充実させる事は大切なことだと考えます。

問 イルミネーション設置は、余裕がなければできない。恵まれた方がより恵まれる補助事業は本当に必要なのか。行財政改革の大綱でも各種補助金の見直しをうたっているが。

答 企画情報課長

LED電球を普及させるためにも補助事業は必要だと考えています。

住民に対する情報公開は

問 今年の市民オンブズマン福岡の発表では、県内市町村の情報公開ランキングで、上毛町は61市町村中55位、ワースト7位、昨年同様に最低レベルの評価である。この評価に対する考えは。

答 町長

この評価に一喜一憂する必要はないと思います。行政が住民に周知すべき事を行えば、それで十分で、発表にとらわれる必要はないと考えます。広報誌で行事や施策等もお知らせしているので、それ以上公開する必要は無い気がします。

問 町は国や県から多くの地方交付税等で運営されている、住民だけでなく国民、県民に対しても情報公開するべきでは。

答 町長

約束した施策等は、6割は実施されていると考えます。来年度は、町民の皆様や町の発展のために、力を尽くしたいと考えています。



宮崎 昌宗 議員

- 住民に対する情報公開は
- 担い手確保を
- 明るい町づくり推進事業

